

BY(びーわい)スタンプ 第9回 運営会議 要旨(速報版)

日 時：平成 17 年 10 月 5 日(水) 14:00～17:00

場 所：機構 4 階 会議室

参加者：

区分	団体名	代表者	備考
運営委員	天の川を清流にする会	園田洋子	欠席
	猪名川・神崎川水質研究グループ	中本二郎	
	鶴殿クラブ	谷岡寿和子	代理
	ひらかた星垂の会	赤城正幸	
	「ええことネット」交野ケナフの会	松山岩脇	欠席
	川の会・名張	川上 聡	欠席
	近木川流域自然大学研究会	橋本夏次	
	子どもと川とまちのフォーラム	小丸和恵	代理
	東近江水環境自治協議会	丹波道明	
	琵琶湖・淀川水系を考える会	川崎伸次	代理
	"	小川明男	
	水と文化研究会	小坂育子	欠席
	淀川愛好会	濱 和義	
近畿水の塾	澤井健二		
事務局 (機構)	青木局長、河野次長、森本部長、角江部長、 桑村部長、北澤部長、芳谷研究員、山下事務職員		

議題

1. BYスタンプラリーの状況
2. 現場交流会について
3. BYQ ネットワーク交流会について
4. その他

1. BYスタンプラリーの状況

事務局より、「1. BYスタンプラリーの状況」を説明し、意見を求めた。

(1) 「チャレンジ7」クリアの方への対応

現在、チャレンジ7を挑戦している参加者2名は、既に「猪名川流域」「大和川流域」の活動に参加している為、7をクリアするのも近いと考えられる。

次回の運営会議までに、記念品などの対応を事務局で提案する。

2. 現場交流会について

事務局より、「2. 現場交流会について」を説明し、意見を求めた。

当日の詳細は、主催団体(川の会・名張)と後日事務局で調整後、運営会議メンバーに案内状を送付する。

3. BYQネットワーク交流会について

事務局より、「3. BYQネットワーク交流会について」を説明し、意見を求めた。

(1) 実施要領

開催日程：平成 18 年 2 月 4 日(土)

場所：みやこめっせ(京都市左京区)

時間帯：13:00～17:00(昨年と同様)

午前中：京都の水辺見学会等を企画。実施主体はBYQとする方向で調整するが、京都市内の協賛グループへ協力を要請する。

（前回交流会見学会：ねや川水辺クラブ主催「寝屋川市駅前親水空間・点野（しめの）歴史親水空間・点野わんど見学」）

午前中の見学会：数コースの見学会を企画して、参加者に選んでもらう案もある。

(2) プログラム

話題提供

「BYQ ネットワーク」という主旨に基づいて、琵琶湖・淀川流域以外で、流域の連携に取り組んでいる方に講演を依頼する。

今後の琵琶湖・淀川流域の連携を強化する為にも、他の地域でも活動や取り組みというのは、興味があり、各団体役立つ内容だと思う。

選定は事務局で行い、次回運営会議で報告する。

活動報告

昨年のアンケートの中で、活動報告の時間が短い（制限時間 3 分）という意見が多かったため、報告時間を長く確保できる、テーブルセッション方式（複数ブース、同時進行で活動報告を実施）を採用する。

活動報告は、報告を基本とし、質問・意見などは後の分科会で行う。

活動報告内容は、各団体と事務局で事前に調整を行う。

当日、活動報告の各ブースでのプログラムを準備する。

分科会

BYQ ネットワークとして、団体の悩みや問題を解決していく様なテーマで、他の団体のノウハウを参考にしていく。

テーマ案

- ・団体の運営者が高齢になっていく中、若い世代の活動や団体への参加の呼びかけ方。
- ・地域の自治体の協力を促すための方法 等。

4 . その他

次回運営会議：12月11日（日）15:30～（現場交流会終了後）アスパア（名張産業振興センター）会議室。

以上